

JRの業務外注化と非正規雇用化に反対するニュースです。感想や意見、現場の情報をお寄せ下さい。dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

激しく進む融合化・組織再編

黙っていれば攻撃が加速する！ 反対の声を

○業務融合化・組織再編攻撃の経過

- 2018/2 会社が東労組に「労使共同宣言失効」通告
- 2018/5 乗務員勤務制度改悪（支社課員の乗務等）提案
- 2018/7 「変革2027」発表
- 2019/3 乗務員勤務制度改悪（支社課員の乗務等）強行
- 2019/3 運転士・車掌職名廃止、ジョブ型提案
- 2019/7 「ミライの車両S&E構創」
- 2020/4 運転士・車掌職名廃止、ジョブ型開始
- 2021/5 現業部門の職名全廃、統括センター化提案
- 2021/12 組織再編（車両センターの首都圏本部、東北本部、新潟支社所属化、企画部門再編等）提案
- 2022/3 現業部門の職名全廃、統括センター化開始
- 2022/8 深澤社長「鉄道部門4千人削減」「グループ内転籍や副業促進」方針発表
- 2022/10 現業機関・支社再編開始
- 2023/3 乗務員行路内に「その他時間」設定
- 2023/6 幕張・京葉車両センターの首都圏本部化
- 2023/7 全駅の（営業）統括センター化

⇒会社は「さらに業務集約や体制見直しを進める」と宣言

鉄道の安全を守っている各系統の専門的な技術・経験、現場労働者を徹底的にないがしろにする会社の施策は矛盾に満ちています。

会社は「鉄道ありきで考えるな」「これからは価値創造だ」といって現場労働者から誇りを奪い、労働者同士を際限ない競争に駆り立てようとしています。

黙っていれば会社の攻撃はエスカレートするだけです。現場の労働者が団結して声をあげれば攻撃を打ち破る展望が切り開かれます。動労千葉と共に今こそ職場から声を上げよう。

会社は業務融合化・組織再編を加速させています。6月には車両センターの首都圏本部所属化、7月には千葉支社管内全駅の（営業）統括センター化が行われます。これは大再編の始まりです。

ここ数年の会社施策を示す右の年表を見て下さい。東労組に対する「労使共同宣言失効」の宣言からわずか5年でここまで進行しました。

グループ会社の再編も

会社は組織再編を「会社発足以来の最大の変

革」と位置づけ、「会社・系統・組織（職場）の仕事の垣根を越えた業務や企画部門の業務などを柔軟に担える仕組みを構築」と主張しています。

その目的は深澤社長自身が明言しているように「鉄道部門4千人削減」「転籍・副業促進」です。さらなる融合化や全面的ワンマン化、鉄道業務の外注化、分社化・転籍、グループ会社の再編が始まろうとしています。

会社の矛盾に満ちた施策